

林業経済学会2018年秋季大会プログラム

【1日目】2018年11月17日(土)

A会場(総合研究棟A110)		B会場(総合研究棟A107)		C会場(総合研究棟A111)		
開始	発表者・題目	座長	開始	発表者・題目	座長	
9:00 T2	趣旨説明 峰尾忠人(京都大)		9:00 B1	曹祐敏(和歌山大)ほか 韓国における企業の社会貢献事業としての森づくり活動の展開	山本信次(岩手大)	
9:10 T2-1	吉田美佳(筑波大) 学問と産業の連携を目指す森林利用学分野の取り組み	峰尾忠人(京都大)	9:35 B2	趙楊然(東京大)ほか 尾瀬国立公園の施設整備・管理における取り組みと課題: 木道、トイレ、ビジターセンターを事例に	9:35 C2	大地俊介(宮崎大)ほか 皆伐に対する市の行政的対応: 宮崎県の中核的2市を事例として
9:35 T2-2	下川哲(早稲田大) 農業経済学の国際的動向: 今後の課題と展望		10:10 B3	伊丹公一(東京農工大)ほか 国立公園管理における自然ガイド役の役割: 日光国立公園日光地域を事例に	10:10 C3	石橋弘之(総合地球環境研)ほか 流域社会の森林保全を担う主体の多様化: 野洲川上流域集落の歴史的文脈と現代的文脈から
10:00 T2-3	高田栄樹(京都大) 林業「経済学」による森林・林業政策の評価	藤野正也(山梨県富士山科研)	10:45 B4	山田春風(東京農工大)ほか 都市近郊林の開拓問題と保全運動: 狭山丘陵の基地開発計画を事例として	10:45 C4	澤井啓(北海道大)ほか 東京都における「森林ボランティア」の多様化: 活動、団体、参加者、ネットワークに注目して
10:25 T2-4	小池浩一郎(島根大) 林業(=林学)概念の発生—その制度的基底		11:20 B5	大塚生実(森総研東北) 森林組合法下の「森林信託事業」の課題と森林信託の可能性	11:20 C5	安村直樹(東京大)ほか 北海道の苗木生産者65社の概要と地域別・規模別の特徴: 北海道庁実施のアンケート調査を利
10:50 T2-5	藤野正也(山梨県富士山科研)ほか 引用ネットワークを用いた林業経済学の学術俯瞰	早船真智(森総研)				
11:15 T2-6	峰尾忠人(京都大) 林業経済学の総括と「新しい林政学」の構想					
11:40	総合討論					
12:10	昼食休憩					
13:00 T3	趣旨説明 高橋卓也(滋賀県大)		11:55	昼食休憩		
13:10 T3-1	田中勝也(滋賀大)ほか 持続可能な森林管理に向けた経済インセンティブの選好分析	高橋卓也(滋賀県大)	13:00 B6	李玄燾(筑波大)ほか 文化遺産から自然調喚への道: 日光国立公園の国立公園調喚プロジェクトの実施過程と課題	13:00 C6	福田淳(広島県大)ほか 広島県における森林生産と原木流通の動向について: 「平成29年度広島県森林生産実態調査」の結果
13:30 T3-2	西村俊昭(熊本農大) 社会を支える森林管理を実現する手法開発のための基礎研究: 滋賀県東近江市における獣害対策森林管理事業について		13:35 T1	趣旨説明 三俣学(兵庫県大)	13:35 C7	茂木もも子(筑波大)ほか 西川林業地における木材流通の変化: 1990年代以降を中心に
13:50 T3-3	松下幸司(京都大)ほか 2000年世界森林業センサスの組替集計による慣行共有事業体の統計的分析		13:40 T1-1	三俣学(兵庫県大) 自然アクセス制の国際比較	14:10 C8	奥山洋一(鹿児島大)ほか 木材販売方式と収支構成: 鹿児島大学農学部附属演習林の事例から
14:10	質疑応答		14:00 T1-2	八巻一成(森総研) 林野コモンズにおける過剰利用問題と生態系サービス	14:45 C9	若木青史(森総研)ほか 合板産業における大径材利用
14:20 T3-4	山本浩一(京都大) 森林認証制度の政策分析: 実験経済学アプローチ		14:20	質疑応答		
14:40 T3-5	榊 建輔(東京大) バイオマス発電が地域の木材産業および林業に与える影響: 岡山県真庭地域の事例	松下幸司(京都大)	14:30 T1-3	神山智美(富山大) アメリカの自然アクセス制		
15:00 T3-6	田中慧吾(東京大) 森林総合産業の現状と課題: 北海道下川町を事例として		14:50 T1-4	吉井戸宏通(東京大) フランスにおける非森林所有者によるきのこの採取について	15:20	休憩
15:20	質疑応答		15:10 T1-5	齋藤暁生(東京大) イングランドにおける自然アクセス活動の実態と規範		
15:30	休憩		15:30	質疑応答		
15:40 T3-7	笹田敬太郎(森総研) 地域づくり団体との協働による森林管理・森林資源利用の可能性について: 島根県内の事例をもとに		15:40	休憩		
16:00 T3-8	梶岡剛一郎(東北大) 自治体の森林環境税の導入動向: 階層的クラスター分析を用いたアプローチ	高橋卓也(滋賀県大)	15:50 T1-6	平野悠一郎(森総研) マウンテンバイカーによる自然アクセス担保の方法と課題	15:40 C10	都築伸行(森総研) 2011~2015年度における森林組合林産事業の動向
16:20 T3-9	山本美穂(宇都宮大) 「森林環境税」市町村交付金事業の現状と課題: 栃木県「とちぎの元気な森づくり県民税」の事例より		16:10 T1-7	泉留維(専修大) 日本におけるフットパスの設置の仕方について: 根室フットパスを事例にして	16:15 C11	林田朋幸(帝京大) 三重県私有林地地帯における林業労働者の生活: ある林業労働者の1980~2010年代の日報から
16:40 T3-10	水間亮洋(鹿児島大) 企業の森づくり活動の実態把握と県の支援政策に関する研究: 九州7県を事例として		16:30 T1-8	寺崎竜輝(日本交通公社)ほか 小笠原島における持続可能な観光のためのローカルルールの実状	16:50 C12	堀清人(森総研)ほか 自営林業における自伐の意義: ドイツ、バーデン・ヴュルテンベルク州の農林業調査の分析から
17:00	総合討論		16:50 T1-9	星健太(東京農工大)ほか 市民活動による都市近郊地域資源管理の保全・管理の可能性: 埼玉県見沼たんぼを事例として	17:25 C13	元楚(筑波大)ほか 自伐林家グループの動向
17:50			17:10	総合討論		
18:15				研究会@第2エリア食堂		

【2日目】2018年11月18日(日)

A会場(総合研究棟A110)		B会場(総合研究棟A107)		C会場(総合研究棟A111)		
開始	発表者・題目	座長	開始	発表者・題目	座長	
9:00 A1	志賀和人(林業経済研) 森林管理における林務組織と地域ガバナンス	高橋卓也(滋賀県大)	9:00 B7	永治和久(筑波大)ほか 吉野林業における山守制度の展開過程と新たな取り組み	9:00 C14	村井敦史(富山県大) 富山県における製材業の現状と課題
9:35 A2	岩木隆平(九州大)ほか 「新たな森林管理システム」政策下における都道府県による森林経営体選定の特徴	楠澤宏昭(北海道大)	9:35 B8	山本伸幸(森総研) 『島田鶴城日記』を読む: 占領期日本林業・林政とライフコース分析	9:35 C15	古賀晋隆(北海道林産研)ほか FIT発電事業は木材加工事業の経営安定化に寄与するか?
10:10 A3	相川高信 都道府県における市町村の支援体制の検討: 長野県の事例	土屋俊幸(東京農工大)	10:10 B9	竹本太郎(東京農工大) 日本帝国による森林管理の基的把握	10:10 C16	早船真智(森総研)ほか PEFCグループ森林管理認証の展開とグループ主体: 日本・北欧の比較研究
10:45 A4	佐藤直子(九州大) 豪雨による流水被害の常態化と森林政策の課題: 平成29年7月九州北部豪雨を題材に		10:45 B10	角谷繁(宇都宮大)ほか 大正世代による高度成長期の林野利用: 栃木県那須烏山市大木須「長山家業書目録」より	10:45 C17	三架淳一(FoE Japan)ほか 日本の家具業界における違法伐採対策への対応
11:20 A5	木村憲一郎(福島林業研究会) 他行政分野からみた自治体林政の特徴	石崎涼子(森総研)	11:20 B11	赤池慎吾(高知大)ほか 鳥居藩森林鉄道建設による山村の近代化の一面: 女性の労働に注目して	11:20 C18	種彦隆(筑波大)ほか 林産物の開拓削減による日本の林業セクターへの影響評価: 応用一般均衡モデルの構築
11:55	昼食休憩(学食が休みのため来学前に各自ご用意下さい)					
12:40 A6	三ツ井聡美(北海道大)ほか 地域再生に貢献する自然資本: 行政文書からの一考察	駒木貴彰(森総研東北)	12:40 B12	藤崎泰治(九州大)ほか UNFCCC-REDD+枠組形成プロセスの分析	12:40 C19	芳賀大地(鳥取大) 林業事業体の学習過程: 鳥取県における事例研究
13:15 A7	Kazi Kamrul Islam(九州大)ほか Forestland grabbing by the foreigner in the Hokkaido, Japan and the question of sustainable forest development	大田伊久雄(琉球大)	13:15 B13	相楽美穂(跡見学園女子大) 途上国の森林開発分野での紛争解決手続き	13:15 C20	游瀧(北海道大)ほか 北海道における木育の展開過程と木育マイスタ一活動の実態
13:50 A8	根本和宜(国環研)ほか 中山間地域における住民の森林所有と森林環境意識: 福島県三島町を事例に		13:50 B14	Kevin Muhamad Lukman(東北大)ほか Comparative Analysis of Indonesia's Mangrove Policy at National and Regional Level: An Experience from BlueCARES Project for Governance of Blue Carbon Ecosystem	13:50 C21	大石卓史(近畿大)ほか キノコの機能性に対する消費者の期待とその規定要因
14:25 A9	田村真江(総合地球環境研)ほか 高千穂郡・桂葉山地域の世界農業遺産認定に関する地域の認識	林雅秀(山形大)	14:25 B15	井上真(早稲田大)ほか ポルネオ島中央部生態系保全へのSDG等国際枠組みの活用: 参加原則に関するインドネシアおよびマレーシアの比較検討	14:25 C22	垂水重紀(森総研開研) 近畿地方におけるシイタケ原木の需給実態
15:00 A10	高瀬康平(北海道大) 林業大学校における教育プログラムの現状と課題: 大学校間の比較検討	寺下太郎(愛媛大)	15:00 B16	鮫島弘光(IGES)ほか 東南アジアにおける小農主型新興木材生産地形成の比較: インドネシア、ベトナム、フィリピンを中心に	15:00 C23	高橋卓也(滋賀県大)ほか 森林に関わる主観的幸福度に影響を及ぼす要因の研究: 流域レベル/上流域レベル調査の比較を中心として
15:35 A11	井上真理子(森総研多摩)ほか 戦後の学校教育における農業教育での林業の扱いの変化	戸石七生(東京大)	15:35 B17	瀧美晴(筑波大)ほか 退耕還林政策による造林に関する農民の認識: 四国香川県市の事例から	15:35 C24	大田伊久雄(琉球大)ほか 森林認証木材製品のプレミアム価格形成に関する一考察
16:10	研究発表終了・解散		16:10 B18	許思寒(九州大)ほか 保護地体系の重視管理の実態と観光運営による住民への影響: 中国銅門関観光景区における事例	16:10 C25	尾分達也(九州大)ほか 高性能林業機械メーカーのリスク認識: 素材生産事業体の機械投資について
			16:45	研究発表終了・解散		